

目の前にある『学び合い』が見えていますか？

～教室『学び合い』フォーラムのあゆみから考える～

新潟大学 水落芳明
新潟県立新潟中央高校 片桐史裕

これまでのフォーラム

第1回2005年8月20日(土)於:新潟ユニゾンプラザ 参加者44名

講演会:西川純

「学力向上の決め手は学び合い～あなたは子どもの学力を奪っているかも?～」

主な分科会タイトル

「子どもがすすんで学ぶ授業を創ろうとする教師の活動～活動目標の設定について～」

「学級崩壊と教師の役割」

『学び合い』という考え方を知ってもらうために、学会形式の発表とは違う形で開催した。現場の先生に多く足を運んでもらいたかったという気持ちがあった。

第2回2006年7月28日(土)～29日(日)於:新潟県立生涯学習推進センター

参加者 102 名

パネルディスカッション:「学び合い」って、そんなにいいの？

主な分科会タイトル

「子どもは教えても理解できない」

「『学び合い』の授業における『目標の設定』と『評価』」

「特別支援が必要な生徒がいる学級→学力があがる？」

「学びあうクラスを作る教師のお仕事」

『学び合い』に関係している人は『学び合い』を無条件で受け入れてしまい、それをどんどん広めようとしているが、「本当に」いいものなのかという素朴な疑問をなげかけ、考えるきっかけを作ろうとした。また、『学び合い』と特別支援の関係について話題が出てきたのもこの会からである。この会から2日間開催。

第3回2007年8月10日(金)～11日(土)於:クロスパル新潟 参加者 108 名

2007 年テーマ ー学び合う集団をどう育てるか?ー

講演会:中村文昭《クロフネカンパニー》

「でっかい子育て人育て～『学び合い』による集団の育て方～」

パネルディスカッション:学び合う集団をどう評価するか!?

主な分科会タイトル

「子どものやる気を高める学級づくりプログラム」

「複数教科における『学び合い』の授業に関する研究」

「小学校1年生の教科学習における児童の相互作用について」

「生徒の動きと思考を考える～古文の『学び合い』授業を通じて～」

「『みんなで伸びる授業』をデザインする～3年「植物をそだてよう」～」

異業種から学ぼうという気持ちで、レストラン経営者の中村文昭さんをお招きした。お話は『学び合い』と通じる、いや、生き方の根本となるお話で、その延長上に『学び合い』があるんだと再確認した。『学び合い』は生き方であり、考え方であるという意識が生まれ始めたのもこの時期である。フォーラムの運営をする時には、このときの中村さんの話が必ず引き合いに出されたり、また、中村さんの講演をこの時に聴いたという方が数年後にフォーラムにまた参加してくれたりして、このときの中村さんは、その後のフォーラムに絶大なる影響を及ぼした。そして『学び合い』の授業と評価の問題が出たのはこの会が初めてである。ちょうど教員評価が導入される時期であった。

第4回2008年8月8日(金)～8月9日(土) 於:新潟大学

参加者 116 名(県外参加者 57 名)

2008 年テーマ -「学び」とは何か? -

講演会: 内田樹《神戸女学院大学教授》

「学び」とは何か

『学び合い』NEO(『学び合い』実演劇) ～『学び合い』のポイント、教えます! ～

主な分科会タイトル

「朝の読書は『学び合い』だ! ～こんなところにも『学び合い』が～」

「わたしの『学び合い』授業～日々行っているわたしの『社会科授業』について」

「話し合わない『学び合い』はあるか?」

「迷い、ためらいを越えて～やっと見えてきた私の『学び合い』」

『学び合い』や「学び」について根本的に考えるきっかけとなったのがこの会だ。内田先生は人間の学びについて、教育現場の「常識」から離れた視点で問題提起をしてくれた。『学び合い』の「スタイル」が何となく定着してきてから『学び合い』を始めた人は、自分の実践が『学び合い』なのか何なのか悩み出してきた時期である。これは『学び合い』なのか違うのか?という疑問に苦しむ若い人たちも増えた。そこで『学び合い』はそこら辺に転がっていることなんだということを提案する人も出始めた。

第5回2009年8月1日(土)～2日(日)於:上越教育大学新潟サテライト

参加者 140 名(県外参加者 50 名)

2009 年テーマ -CHANGE 教室は変わる-

講演会: 江口歩《お笑い集団NAMARA代表》

「コリ固まった脳みそのほぐし方」

学び合う学校サミット(学校全体で『学び合い』に取り組んでいる学校の報告)

新潟県五泉市立村松小学校 新潟県上越市立里公小学校 長野県東筑摩郡生坂村立生坂中学校

主な分科会タイトル

『学び合い』体験講座「NIE実践」「群読実践」「社会の授業」

『学び合い』悩み相談室」

「学び合う英語」

またもや教育関係とは全く違う分野からメインゲストをお呼びした。テーマの「CHANGE」=変化のためには教育現場の常識は本当に常識なんだろうかと頭を柔らかくして考え、教室内に変化をもたらせたいという願いからだ。この会から実践発表を聞くだけではなく、『学び合い』を実際に体験する講座も複数開いた。『学び合い』という言葉はどこかで聞いたことがあるけれど、実際どのようなものかを知りたい人が大勢いたからだ。また、各地の『学び合い』の会が盛況となり、その会を紹介する全体会も開いた。全国各地に『学び合い』が着実に広まっていることを実感できた。

第6回2010年8月5日(木)～6日(金)於:上越教育大学新潟サテライト

参加者 110 名(県外参加者 50 名)

2010 年テーマ -学び合う教室の作り方-

講演会: 長尾彰《している株式会社 取締役》

「集団作りとは」(ワークショップ)

パネルディスカッション:「走れメロス」の『学び合い』課題設定について

模擬体験授業

国語: 小4「一つの花」 社会: 中 「世界と比べて見た日本」 算数: 小3「かけ算のひっ算」

理科: 小5「電流のはたらき」 英語: 中2「依頼/申し出、許可、義務、勧誘」 など

単なる話を聞く講演会ではなく、ワークショップ形式となった。集団がどう変化するかを身をもって体験した。それに合わせて、分科会も様々な学校種で教科の『学び合い』の授業の課題設定をし、模擬授業をするという形式をとった。フォーラムは単なる『学び合い』の話を聞く場ではなく、そこで授業を作っていくという形に変化した。そして参加者が学び合う会へと発展して行く方向になった。